

# すこやか河内

河内地域学校園だより vol. 015 2015/3/3

～ 小中一貫教育を通して、子どもたちの心身の健やかな成長を目指します。～

## ☆ 小学校6年生の進学先中学校訪問

-児童の中学校進学への自覚を深めたり期待を高めたりするとともに、不安解消を図ることを目的として-

【本地域学校園の目的】

- ・ 中学校入学前に小学6年生に中学校の様子を知らせることによって、中学校進学に対する不安を軽減し、安心と意欲を持たせる。
- ・ 小学6年生が、中学校教員による授業を体験し、部活動を見学しておくことで、中学校生活へのスムーズな移行ができるようにする。

○ 1月20日(火)午後、来年度に入学予定の児童が中学校を訪問し、授業や部活動の体験を行いました。

日程	
時間	児童の行動
13:50～14:05	○ 中学校の多目的室に集合 ・ 校長先生のお話 ・ 日程確認・諸注意
14:15～14:40	○ 体験授業 1組：国語 2組：数学 3組：理科 4組：英語 しらさぎ学級：国語
14:50～15:30	○ 部活動見学 ① 野球 ② バスケットボール(女子) ③ バレーボール(男子) ④ バレーボール(女子) ⑤ サッカー ⑥ ソフトテニス(男子) ⑦ ソフトテニス(女子) ⑧ 卓球 ⑨ 柔道 ⑩ バドミントン ⑪ 吹奏楽 ⑫ 美術
15:40～15:45	○ 校庭集合 ・ まとめ、ふりかえり ・ 中学校3学年主任の話 ・ 解散



- この日の参加児童数 -

岡本小 43人, 岡本西小 66人, 御幸が原小 24人  
岡本北小 1人, 平石北小 1人 合計 135人

## ◎ 本年度の小中一貫教育を振り返ってのアンケート

○ 本地域学校園の小中一貫教育の成果と課題を明らかにするため、毎年この時期に、小学校6年生と中学校1年生を対象にアンケート調査を実施しています。

○ 小学校6年生(115人)に ( )内数字は昨年度の値

### ① 進学を不安に思っていましたか。

- |              |         |
|--------------|---------|
| (1) とても不安    | 9(15)%  |
| (2) 少し不安     | 52(52)% |
| (3) あまり不安でない | 29(21)% |
| (4) 全く不安でない  | 10(12)% |

### ② 今、進学を不安に思いますか。

- |              |         |
|--------------|---------|
| (1) とても不安    | 4(7)%   |
| (2) 少し不安     | 36(45)% |
| (3) あまり不安でない | 43(36)% |
| (4) 全く不安でない  | 17(13)% |

### ③ 進学で不安なことは何ですか。

- (複数回答可)
- |                 |         |
|-----------------|---------|
| (1) 勉強が難しくなる    | 77(77)% |
| (2) 部活動         | 51(32)% |
| (3) 1日の生活のこと    | 22(15)% |
| (4) 友人関係やいじめのこと | 21(41)% |

### ④ 小中一貫教育の取組で、不安は変わりましたか。

- |           |         |
|-----------|---------|
| (1) 減った   | 20(20)% |
| (2) 少し減った | 53(40)% |
| (3) 変わらない | 24(36)% |
| (4) 少し増えた | 2(3)%   |
| (5) 増えた   | 1(2)%   |

### ⑤ 不安を減らした取組は何ですか。

- (複数回答可)
- |                 |         |
|-----------------|---------|
| (1) 中学校訪問       | 80(79)% |
| (2) 相互乗り入れ授業    | 24(22)% |
| (3) クリーン活動      | 23(11)% |
| (4) あいさつ運動      | 15(5)%  |
| (5) 運動会での交流     | 9(12)%  |
| (6) 冒険活動教室(1人)  | -       |
| (7) 中学校説明会(未実施) | -(36)%  |

- (複数回答可)
- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| (5) どんな先生がいるか              | 21(16)% |
| (6) 中学校の校則                 | 19(33)% |
| (7) どんな先輩がいるか              | 17(51)% |
| (8) 教科担任制                  | 16(13)% |
| (9) 知り合いと同じクラスになれるかどうか(1人) | -       |

○ 中学校1年生(118人)に ( )内数字は昨年度の値

### ① 昨年度の小中一貫教育の取組で、進学への不安はどう変わりましたか。

- |         |         |           |         |           |         |           |       |         |       |            |       |
|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------|---------|-------|------------|-------|
| (1) 減った | 17(22)% | (2) 少し減った | 31(38)% | (3) 変わらない | 36(29)% | (4) 少し増えた | 8(8)% | (5) 増えた | 5(3)% | (6) だいぶ増えた | 3(0)% |
|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-----------|-------|---------|-------|------------|-------|

### ② 不安軽減に役立った取組は何ですか。

- (複数回答可)
- |              |         |
|--------------|---------|
| (1) 中学校訪問    | 44(65)% |
| (2) 運動会での交流  | 26(22)% |
| (3) 中学校説明会   | 24(42)% |
| (4) 相互乗り入れ授業 | 15(18)% |
| (5) あいさつ運動   | 14(16)% |
| (6) クリーン活動   | 13(19)% |
| (7) 文化祭(1人)  | -       |

### ③ 中学校入学後に困ったと思ったことは何ですか。

- (複数回答可)
- |                    |         |
|--------------------|---------|
| (1) 勉強が難しくなった      | 81(87)% |
| (2) 部活動            | 29(25)% |
| (3) 友人関係やいじめのこと    | 29(17)% |
| (4) 中学校の生活になじめないこと | 22(24)% |
| (5) 校則のこと          | 16(30)% |
| (6) 先輩との人間関係       | 7(32)%  |
| (7) 先生との人間関係       | 7(14)%  |
| (8) 教科担任制          | 3(14)%  |
| (9) 高校受験(1人)       | -       |

### ④ 小学校の先生による相互乗り入れ授業は役に立ちましたか。

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| (1) とても役に立った    | 19(14)% |
| (2) 少し役に立った     | 42(57)% |
| (3) どちらでもない     | 30(24)% |
| (4) あまり役に立たなかった | 2(3)%   |
| (5) 役に立たなかった    | 7(3)%   |

### ⑤ 小学校の先生による授業は、どのように役立ちましたか。

- (複数回答可)
- |                            |         |
|----------------------------|---------|
| (1) 小学校で学んだことを思い出すことができた   | 64(71)% |
| (2) 小学校の先生の授業は、丁寧でわかりやすかった | 26(32)% |
| (3) 授業が楽しく、やる気が出た          | 25(31)% |
| (4) 昨年の担任の先生に会えて安心した       | 18(22)% |
| (5) 授業中にそばに来て、個別に教えてもらった   | 4(5)%   |
| (6) 役に立たなかった(3人)           | -       |
| あまり役に立たなかった(1人)            | -       |

○ 小学校6年生における現在の進学への不安感は、昨年度と比較し13%減少しました。

73%の児童が、小中一貫教育の取組により「軽減された」と感じているようです。しかしながら、「学習面の不安」が昨年に引き続き高い数値を示しています。入学当初の学習指導面における配慮が求められます。

中学校1年生では、小学校の先生による乗り入れ授業の評価が低下しています。小中の教員同士で内容や方法を検討し、より効果的に行なわれるよう工夫していきたいと思ひます。

## ◎ 取組の様子

### 健康・体力部会 「姿勢と健康」

- ◆ 児童生徒の健康・体力の保持増進を願って、啓発資料を作成しました。

**しせい けんこう 姿勢と健康**

わるい姿勢が体に与える影響、もしかしたらこんなことが・・・

- ・目がわるくなる ・かたや、こしなどがいたくなる
- ・あたまがいたくなる ・歯の かみあわせ がわるくなる
- ・つかれやすい ・おなかのちようしがわるい ・なかなかならぬ など

「体がゆがむ」ということばがあるけど・・・

ちきゆうには、重力(じゆうりよく)があります。「わるい姿勢(しせい)」でいると、重力によって、体がゆがんでしまうのです。

**しゅうかんによって からだが ゆがんでしまうことも!**

- ・あしをくむとき、上にする足がだいたい決まっている
- ・ゆかにすわるとき、みぞかひだり のどちらに足を出すかが決まっている
- ・かばんや かいものぶくろ をもつ手が決まっている
- ・かざをさすときに もつ手が決まっている
- ・ショルダーバッグをかける かたが決まっている
- ・よこをむいてねるとき、みぞむきか ひだりむきかが決まっている
- ・べんきようするときの かっこうが決まっている

スポーツによるゆがみもおこりやすい! ...たとえば、

- 野球 バッティングやピッチングなど、みぞかひだりか どちらかが決まっている
- サッカー ける足が決まっている
- 水泳 クロールでいきつきをするときに、かおをあげる むきが決まっている

→ いつも決まったところに 力がかかることになる。

**しせいがわるいと びょうきに なりやすくなる?**

わるい姿勢(しせい)になると、腹筋(はつせん)の力がよわくなります。腹筋(はつせん)がよわくなると、おなかが出てきて、おなかのちからがよわくなります。そうすると、けりや べんびになりやすくなります。べんびはからだにいらぬものをせせり出さなくても、いろいろなびょうきの げんいんになります。

正しい立ち方からの歩き方

① グーツと両手を 肩の上ののぼします。 肩骨(かたほね)がのびている ことを感じます☆

② 肩の上ののぼした手を ゆっくりと下に、ふとももにびたっとつけた 姿勢から歩きます!

正しい座り方: グー チョキ パー の法則

いすとは グーの距離

体とは チョキで調節

机とは パーの距離

正しい姿勢になることで、 ところもみた目もきれいになる。

宇都宮市は 食事のマナー教育推進中!

食事の姿勢も同じです! 吸収すべきものがきれにくく、内臓を圧迫。 見た目もなんだが...

＜ネット参照＞ カラダにe サイト! Health クリック 姿勢インフォメーション

\* 上記は小学生用に表現をやさしくしたものです。中学生用は少し情報量が増えたものになります。

### 地域学校園全体研修会

2月2日(月)、岡本小学校を会場に本年度最後の地域学校園研修会(全体会)が開かれ、部会ごとに平成26年度の活動について振り返り、部会ごとに成果と課題を発表しました。



部会名	成果	課題
学力向上	各校で道徳の公開授業を実施	学習状況調査・定着度調査データの活用
学校生活適応支援	「生活のきまり」アンケートの実施	児童生徒の変容の経過観察
教育相談	教育相談を各校で計画的に実施	「引き継ぎシート」の内容・運用を検討
特別支援教育	保護者への進学情報の提供	「かがやきルーム」担当者の小中交流
健康・体力	「姿勢と健康」の作成	9カ年の健康・体力面の発達過程の追跡
食育推進	地域学校園統一献立の継続的な実施	マナー習慣における重点項目の検討
交流連携促進	「中学校訪問」「保護者説明会」を同時開催	「中学校訪問」の内容の検討
学校事務	地域学校園事務室評価の実施	学校集金のネットバンキングへの移行
学校図書館	「学習情報センター」としての機能充実	小6の「調べ学習」指導内容の検討

## ☆ 平成27年度以降の「小中一貫教育・地域学校園」制度

全市実施3年目を迎え、宇都宮市はこれまでの「小中一貫教育・地域学校園」制度の検証を行い、持続可能な制度となるよう今後の方向性を明らかにするとともに、具体的な取組について検討を行いました。

以下に、具体的な取組の改定の一部を掲載します。

**【目標】 義務教育9年間を通じた系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動などによる、児童生徒の学力保障と学校生活適応を目指す学校教育の充実**

**縮小** 一部縮小、廃止する3つの取り組み

- ① 会話科の実施  
中学校1年生の会話科を取りやめ、会話科で取り上げていた内容を各中学校において教科や総合的な学習の時間に生かして実施する。
- ② 地域の教育力を生かした教育活動(土曜授業の実施)  
全市実施1回は継続し、他は学校裁量で回数等を決定する。
- ③ 教職員の連携した取組と推進のための運営体制(フロンティア地域学校園)  
フロンティア地域学校園を廃止する。

**変更** 地域学校園または学校裁量に変更する4つの取り組み

- ① 授業時数の増加  
小学校の特定教科の授業時数増加は10時間に縮減し、中学校の特定教科の授業時数増加はとりやめ、学校裁量としながら総授業時数は同様の時数を計画に位置づける。
- ② 地域の教育力を生かした教育活動(地域学校園協議会の役割)  
地域学校園協議会の役割を精査し、情報交換(年1回以上)のみにする。
- ③ 中学校教員の小学校への乗り入れ授業  
小中教職員の相互理解や指導の工夫・改善を目指して実施し、さらには、小学校6年生の中学校の学習に対する不安解消を図るものとする。中学校教員による2回目の乗り入れ授業の教科枠は、引き続き学校裁量とする。
- ④ 小学校教員の中学校への乗り入れ授業  
小中教職員の相互理解や指導の工夫・改善を目指して実施し、さらには、中学校1年生の学校生活適応の支援に資するものとする。小学校教員による乗り入れ授業は、年2回以上とする。

**新規** 新たに実施する1つの取り組み

- ① 月1回程度の「小中一貫の日」の設定  
地域学校園で月1回程度の「小中一貫の日」を設定し、新制度を確実に推進する。

## ☆ 地域学校園事務室より「就学援助制度について」

宇都宮市では学校教育法第19条に基づき、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学校の諸経費の一部を援助する「就学援助制度」を設けています。内容は、1か月950～2,045円の学用品費(学年による差有り)、給食費や修学旅行費・校外活動の実費などが、年3回に分けて支給されます。認定の基本は、生活保護基準に基づく世帯の総所得金額になるため、家族全員の所得調査が行われます。また、生活状況確認のための、担当民生委員の家庭訪問についても同意が必要です。

就学援助費の受給を希望する場合には、学校へ受給申請書を提出していただきます。なお、前年度に認定を受けていても、更新の手続きは毎年必要です。兄弟姉妹が小・中に分かれて通学する場合には、申請書はそれぞれの学校への提出になりますが、本地域学校園では、小学校へ1部提出すれば、中学校分については省略することが可能です。間もなく平成27年度に向けての申請手続きが始まりますので、質問等がある場合には、各学校の事務職員にお問い合わせください。